予習シリーズ4年㊤ 第10回［総合］ 月例テスト 第2回 理科 （24. 4. 28）

解 答

1 問1 **ア** 問2 **エ** 問3 **エ** 問4 **ウ** 問5 **ウ** 問6 **エ**

2 問1 **南中** 問2 **ウ** 問3 (1) **B** (2) **ア** (3) **イ** (4) **X**

3 問1 B **三日月** D **下げんの月** 問2 数字 **2** 記号 **イ**（くんで） 問3 **C**
問4 **X** 問5 **い** 問6 **D**

解 説

1 **問1** 関東地方では，ホウセンカ・ヒルガオは夏，ヒガンバナは秋に花をさかせます。

問2 春の七草は7種類とも食べることができますが，カブ（スズナ）・ダイコン（スズシロ）は，葉だけでなく，大きく育つ葉の下の根の部分も食べることができます。春の七草のうち，ナズナ・スズナ・スズシロは，アブラナ科の植物で，モンシロチョウの幼虫の食草です。

問3 シロツメクサは，人の手によって外国から運ばれ，日本でふえた帰化植物です。

問4 ウグイスは，山と平地の間をいききする鳥です。ツバメは南の国から日本にもどってきて産卵する夏鳥，ハクチョウ・カモは，春の初めに北の国へわたっていく冬鳥です。

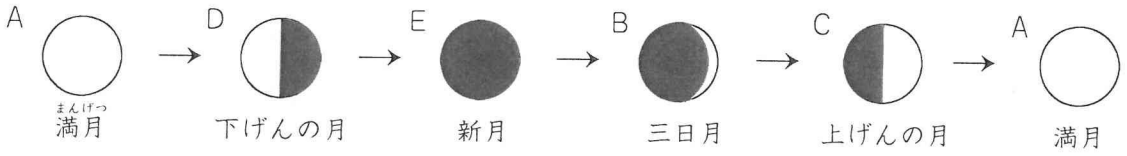
問5 メダカは水温が20℃以上，昼の長さが13時間以上の日が続くとき，産卵します。ふ化するまでにかかる日数は水温によってちがいますが，25℃では10日くらいです。

問6 ヒキガエルは，関東地方で3月ごろ，たまごを産みます。たまごは小さく，長いひも状の寒天のようなものに包まれています。たまごの数は，ふつう数千個あります。

2 **問1** 太陽が真南にきたときを太陽の南中といいます。

問3 棒のかげの長さは太陽高度によって決まります。太陽は，南中したときに最も高い位置にくるので，このときかげの長さは最も短くなります。6月には1年のうちで太陽が最も高い位置にくる，夏至の日（今年は6月21日）があり，この日のかげの長さは1年のうちで最も短くなります。

3 **問1・2** 満月（A）を1番目として満ち欠けの順にならべると，下図のようになります。満月から次の満月までは，約30日かかります。



問3 午後6時ごろ，太陽は西の地平線近くにあります。このとき，真南にあって月の西側半分が照らされた上げんの月（C）が見られます。

問5 日食が起きたとき，月は（図2）の㋑の位置にあります。このときの月は新月（E）と呼ばれます。また，月が（図2）の�えの位置にあるとき，満月（A）が見え，このとき月食が起こることがあります。

問6 月が（図2）の㋐の位置にあるとき，日本からは下げんの月（D）が見えます。また，㋒の位置にあるときには上げんの月（C）が見えます。